

春になるとさまざまな植物の花が咲きはじめる。赤や黄，あるいは白など，じつに美しい花を咲かせるものがある一方，あまり人目につかないものや，またお世辞にも美しい花とはいえない植物も少なくない。風媒花であるシラカンバの花もその中のひとつである。この花は単性で雌雄同株であり，4月下旬から5月にかけて雄花は尾状花序をつくって前年にのびた長枝にたれ下がり（写真右），雌の花序は短枝に上向きにつく（同左）。雌花序は秋になると果穂となって下垂するが，その中の果実を数えてみたところ 500～760 個も含まれていた。

さてシラカンバはいったいどのくらいの樹齢になると花が咲くのであろうか？ 筆者は3年生の実生苗に花が咲いているのを何本か確認している。条件によってはこのような若齢でも咲くことがあるといえよう。またこのときは雌花序はたくさんみられたが，雄花序はきわめて少なく，木によっては雌花序だけのものもあり，雌花のほうがはやく着花するのではないかと思われた。

（樹芸樹木科 佐藤孝夫）



（雌花序）



（雄花序）